

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市大山街道ふるさと館	評価対象年度	平成27年度
事業者名	・事業者名 川崎市大山街道ふるさと館共同運営事業体 代表団体 公財)川崎市生涯学習財団 代表者 理事長 金井 則夫 住所 中原区今井南町-1 構成団体 認定特定非営利活動法人教育活動総合サポートセンター	評価者	総務課長
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	所管課	高津区役所総務課

2. 事業実績

利用実績	貸室利用者数33,224人、貸室利用件数1,831件、展示室利用者数9,694人
収支実績	収入総額25,948,920円(指定管理委託費23,462,058円、利用料金収入2,078,900円、雑収入407,962円) 支出総額24,957,969円
サービス向上の取組み	・展示室室内の作成・配布やガラスウォールの説明書き等、利用者が気軽に快適に観覧できるようになった。 貸出し可能な設備の一覧を見やすい位置に掲示し、貸室利用者に対しての利便性の向上を図った。 ・施設内の緑化、街道に関連した装飾、トイレの温水洗浄便座化等、館の快適な環境づくりを推進し、利用者の満足度向上を図った。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	基本方針	施設の設置目的に沿った適切な運営を行っているか	5	3(0.6)	3
	事業成果の測定	事業実施による成果の測定が適切に行われているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由)	「高津区民祭」への積極的な協力や「大山街道フェスタ」に合わせて「大山街道ふるさと館祭り」を継続開催するなど、地域の文化活動や施設の認知度向上に寄与していると認められる。 総合的な運営として、施設の設置目的に沿った取り組みが行われていると認められる。			
管理業務の実施状況	維持管理等	施設利用の提供に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用料金	適正な料金徴収を行い、遺漏のない金銭管理を行っているか	5	3(0.6)	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報公開を適切に行っているか	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	4(0.8)	4
	人員配置	適切に職員を配置し、円滑なローテーションを行っているか	5	3(0.6)	3
	人材育成	業務に関する研修を行い、職員の資質の向上に努めているか	5	3(0.6)	3
	危機管理等	通常の安全管理や、緊急時を想定した計画・訓練などを行うとともに利用者のニーズの把握につとめ適切な対応を行っているか	5	3(0.6)	3
	(評価の理由)	イベントホールへのスクリーンの新設や、温水洗浄便座の設置等、利便性・快適性の向上が図られている。 その他、管理全般として事業計画に沿った適切な施設管理がなされている。			
事業実施状況	施設を活用したサービスの提供	市民に親しまれるふれあいと学習の場を提供しているか。	10	4(0.8)	8
		地域団体や他施設と連携して魅力ある事業を展開しているか			
	施設の利用に関する業務	利用者の立場に立ったサービス提供を行い、利便性の向上に努めているか	15	4(0.9)	12
		充実した広報活動等により、施設の利用促進が図られているか			
	大山街道についての資料の展示等に関する業務	郷土の理解を促進する、魅力ある企画展を提供しているか	15	3(0.6)	9
常設展示について、魅力ある展示の工夫につとめているか					
事業の開催に関する業務	郷土理解の促進に寄与する文化事業や市民のニーズに即した文化事業を行っているか	5	4(0.8)	4	
	(評価の理由)	大山街道ふるさと館サポーターズクラブの活動が本格的に開始し、大山街道フェスタと同日開催した「大山街道ふるさと館サポーターズクラブ祭り」を地域団体(高津観光協会、溝口第2町会等の14団体)と連携し開催した。 展示室利用案内、ガラスウォールの説明書きの掲示等、来場者自身で快適に観覧できるような取り組みが展示室入場者数の上昇に寄与しているものと思われ、評価したい。また、これまでの広報に加え、市政だより・モニター広告等の市の広報媒体や、多数のラジオ出演・テレビ取材への協力等メディアを活用したPRを積極的に行い、事業周知及びイメージアップに大きく貢献している。 小・中学生の子どもを対象とした事業に継続的に取り組むとともに、地域団体や学校からの依頼による講演会や街道学習の受け入れにも積極的に協力し地域の郷土理解の推進につながる活動を行っており評価できる。			

収支状況	安定性	適切な収支計画に基づき、安定した運営を行っているか	5	3(0.6)	3
	効率性	市民サービスの向上に努めながら、効率的な予算執行が図られているか	5	4(0.8)	4
	(評価の理由) 収入の範囲内で経費を支出しており、適正な予算執行がなされている。 かわさきFM等のメディアを活用した広報を行うなど、予算をかけない取り組みによりイメージアップを図るとともに利用者数を伸ばしている。				

4. 総合評価

評価点合計	68	評価ランク	C
-------	----	-------	---

注) 評価点: 100点満点。評価ランク: 5段階評価

A: 80点以上 B: 70点以上80点未満 C: 60点以上70点未満 D: 40点以上60点未満 E: 40点未満

A: 特に優れている B: 優れている C: 適正である D: 改善が必要である E: 問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

展示室の入場者数及び貸室の利用率が増加しており、館の工夫と努力が認められる。
その他全般については、第2期に取り組んだ経験を活かして管理面・事業面とも確実に事業執行している。
市民文化の向上や地域団体・文化団体との連携を基本として取り組みを進めていることは評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

これまで取り組んだ実績を踏まえて、事業計画を着実に実行すること。様々な地域の団体との連携等により、新たな事業を展開できる可能性も多岐に渡ることから、大山街道に立地する強みを活かしながら、魅力ある事業を検討すること。
会議室等の運用に関しては、公平で平等な利用を確保しつつ、貸室利用件数の増加に向けて、設備の充実等、工夫と努力を怠らないこと。施設の維持管理に関しては、利用者の快適利用や安全確保に留意すること。
引き続き、地域団体や文化団体等との連携を行い、市民文化の向上並びに大山街道及び周辺地域の振興に向けた取り組みを行うこと。